

学 界 消 息

**1. 定款の一部変更申請認可さる**

昨年の総会で承認された定款の一部変更に関し文部省に申請中のところ、去る1月14日付認可があった旨、2月3日東京都教育委員会経由通知があった。

**2. 台風シンポジウム開かる**

去る2月5日学士会館において気象庁と米軍気象隊との合同主催による台風シンポジウムが盛會裡に開かれた。講演はつぎのとおりであった。

台風の運動および構造	正野 重方
台風の蛇行運動	荒川 秀俊
温度場による台風の移動の予報	高橋浩一郎
地上実況報による台風の中心位置のきめ方	久米 庸孝
流函数を用いた台風移動の数値予報	増田 善信
気象庁における1956—1957年の台風経路の数値予報	寺内 栄一

**3. 大分地方気象台で70周年記念**

大分地方気象台は大分測候所として明治20年(1887)1月10日から正式観測を開始したので、去る1月23日創立70周年記念式典を行った。明治30年から33年間測候所で働かれた、今年88才の山川軍治氏も臨席され、盛大に挙行された。

**4. 小倉氏 MIT に**

小倉義光氏はMITにおいて Research Associate として研究されるため、去る3月1日横浜を出帆された。

**5. 杉浦氏テキサス農工大学に**

気象研究所の杉浦雄吉氏は去る1月11日から1年間放射化学的の海洋学の研究のため米国テキサス農工大学の奨学生として留学された。

**6. 小平氏帰国**

会員小平信彦氏(気研)は昭和30年12月よりアメリカ

のMITで気象用レーダーについて研究したが、本年2月15日帰国された。

**7. 諏訪氏米国に**

会員諏訪 彰氏(本庁地震課)は科学技術庁在外研究員として、1年間の予定でハワイ火山観測所およびカリフォルニア大学(パークリー)で噴火機構の研究のため去る2月24日羽田を立たれた。

**8. 長田輝雄技官殉職さる**

去る2月26日富士山測候所の長田輝雄技官は頂上勤務者と交替のため登山中、7合目小屋の石垣付近で約40メートルの突風のため、30メートル下まで転落殉職された。葬儀は28日御殿場の故人自宅で台葬で行われた。氏は御殿場で強力をしていたが、昭和7年船津測候所に入り、以来26年間富士山測候所に勤務、享年57歳。謹んで哀悼の意を表する。

**日本気象学会75年史正誤表**

配布された気象学会史について、各方面の方々から、その正誤などの点について御注意をうけた。次にこれらを列挙するが、御注意をたまわった方々に対しては深く感謝する次第である。

1. 荒井郁之助氏の御子息である荒井陸男画伯から、巻頭明治21年第1回気象協議会の写真氏名のうち、左側下から4行目、梶山地理局次長(?)とあるのは三浦清俊氏(当時官職不明)であるとの御教示をうけた。

2. 次に全体の正誤表をかかげる。なおこれ以外にも多少の誤があるやもしれず、これらについて御気付きの節はどんな些細なことでも御知らせねがいたい。訂正の上誤なきをききたい。(気象庁予報課 根本順吉)

**日本気象学会75年史正誤表**

頁	行	誤	正	頁	行	誤	正
口絵	明治42年気象協議会人名中の列、下から6行目	佐土虎士	佐木虎士	33	左下から21行目	蔡町	葵町
口絵	昭和32年記念式典写真中の列、上から6行目	永井波佐太郎	永井佐太郎	37	右下から14行目	エルスナー	エルスター
10	右上から10行目	大正13	大正14	40	左上から22行目	アイソスシ	アイソスタ
10	右上から13行目	昭和元年	大正15年			シー	シー
16	右上から10行目	昭和26年	昭和27年	40	左下から4行目	平野烈介氏	氏をとる
16	右上から24行目	28年8月	28年2月	40	右上から25行目	大隅半島	大隅半島
17	右上から14行目	32年3日	32年3月	42	右上から24~26行目	ラジオによる放送開始の事項を大正14年にくり入れる。	
18	左上から22行目	Singularity,	Singularityの	43	右上から10行目	関口鯉	関口鯉吉
18	左上から27行目	32年	32年	43	右下から5行目	トンボ1	トンボ一
21	左上から25行目	中谷宇古郎	中谷宇吉郎	46	右下から14行目	ノモハン	ノモンハン
25	右下から1行目	29年	29年	56	左上から4行目	スタリーン	スターリン